

# いわて平泉米だより

適期管理・防除に努めましょう！

## いわて平泉米だより

田植えは天気の良い風の弱い日に行い活着を促しましょう。また、地域や品種毎に適期が異なるため、極端な早植えや遅植えにならないよう注意しましょう。

### 《病害虫防除》

#### ○薬剤による防除

田植え時に初期害虫および葉いもち病予防のために自分の栽培区分に合う薬剤を育苗箱にまんべんなく施用して下さい。



### 《田植え後の管理》

#### ○水管理

田植え後から活着するまでは葉先が2~3cm出る程度の深水としましょう。活着後は水温を上昇させるため、好天の時には水深2~3cmの浅水とし、気温が15℃以下となる低温の時には深水とするなど、こまめな水管理に努めましょう。

#### ○除草剤の使用方法

初中期一発処理除草剤の効果を高めるため、使用適期に散布しましょう。特に、代かきから田植えまでの日数が長い場合や好天が続いた場合は、雑草の生育が進み防除適期を逃してしまうことがあるため、早めの散布に努めてください。



また、除草剤散布後3~4日間は水を動かさないようにしましょう。

#### ○カメムシ防除のため6月上旬にも畦畔の草刈りを行いましょう

カメムシの成虫は年3回発生します。6月上旬の草刈りはカメムシの1回目の発生量を抑制し、その後の発生量も少なくする効果がありますので、地域一斉で行うなど計画的に実施しましょう。